

Kit CE-ESI-MS AJS compatible, Part Number G1607-64001

1. 化学品及び会社情報

製品名	: Kit CE-ESI-MS AJS compatible, Part Number G1607-64001		
製品番号 (化学キット)	: G1607-64001		
製品番号	: CE-MS Test Sample	5063-6590	
	: CE-MS Run Buffer	8500-4410	
供給者/ 製造者	: 会社名 Agilent Technologies, Inc. 住所 5301 Stevens Creek Blvd Santa Clara, CA 95051, USA		
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637		

化学製品の推奨される用途

分析化学。

CE-MS Test Sample	1 mg
CE-MS Run Buffer	5 ml

発行日/改訂版の日付	: 23/03/2016
前作成日	: 11/04/2014.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

CE-MS Run Buffer

H226	引火性液体 - 区分3
H319	眼刺激性 - 区分2A
H360	生殖毒性 (受精能) - 区分1B
H360	生殖毒性 (胎児) - 区分1B
H370	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分1
H372	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (中枢神経系 (CNS) および 目) - 区分1

GHS ラベル要素

危険有害性の絵文字



注意喚起語

: CE-MS Test Sample	注意喚起語なし。
: CE-MS Run Buffer	危険

危険有害性情報

: CE-MS Test Sample	重大な作用や危険有害性は知られていない。
: CE-MS Run Buffer	H226 - 引火性液体及び蒸気。 H319 - 強い眼刺激。 H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 H370 - 臓器の障害。 H372 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。 (中枢神経系 (CNS)、目)

注意書き

安全対策

: CE-MS Test Sample	該当せず。
: CE-MS Run Buffer	P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P280 - 保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。保護手袋/衣類を着用すること。 P210 - 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。 P241 - 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器および全ての材料運搬装置を使用すること。 P242 - 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 - 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 P233 - 容器を密閉しておくこと。 P260 - 蒸気を吸入しないこと。 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

4. 応急措置

せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

皮膚に付着した場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

飲み込んだ場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性

眼に入った場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質へ暴露すると、目に炎症を引き起こす原因となる可能性がある。
強い眼刺激。

吸入した場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となる可能性がある。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

飲み込んだ場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

短期暴露

潜在的な遅発性作用 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

データなし。
データなし。

過剰暴露の徴候/症状

眼に入った場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

有害症状には以下の症状が含まれる：
刺激
発赤
有害症状には以下の症状が含まれる：
痛み及び刺激
流涙
発赤

吸入した場合 : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

有害症状には以下の症状が含まれる：
気道の刺激
咳
有害症状には以下の症状が含まれる：
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の外表奇形

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	特にデータは無い。 有害症状には以下の症状が含まれる： 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
飲み込んだ場合	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	特にデータは無い。 有害症状には以下の症状が含まれる： 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示		
医師に対する特別な注意事項	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
特定の治療法	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	特定の治療法はない。 特定の治療法はない。
応急措置をする者の保護	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

有害性情報を参照(セクション11)

5. 火災時の措置

消火剤		
消火剤	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	粉末化学消火剤を使用すること。 粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消火剤を使用する。
不適切な消火剤	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性がある 高圧媒体を避けること。 ウォータージェットを使用してはならない。
火災時の措置に関する特有の危険有害性	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	分散すると、粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性あり。 引火性液体及び蒸気。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。
有害な熱分解生成物	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 硫黄酸化物類 分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 ホルムアルデヒド
消防士用の特別な防具と予防措置	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。 ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

5. 火災時の措置

消火を行う者の保護 :  E-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォーターズプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

緊急時要員以外の人員用 :  E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。粉塵の吸入を避ける。適切な個人保護装置を着用する。

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

緊急時の責任者用 :  E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 :  E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 :  E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

漏出区域から容器を移動する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に收容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

保護措置

: ☑E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。粉塵の吸入を避ける。取扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて(火花または火炎)を避ける。粉塵の貯留を防止する。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。電気機器および照明器具は、熱せられた表面、火花、その他の引火源に粉塵が接触しないよう、適切な基準に合わせて防護されていないといけない。静電気防止対策を講じる。火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。暴露を避けること—使用前に取扱説明書入手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。防爆型の電気装置(換気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。火花を発生させない工具を使用すること。静電気防止対策を講じる。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

一般的な職業衛生に関する助言

: ☑E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

安全に保管するための注意事項

: ☑E-MS Test Sample

CE-MS Run Buffer

現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

8. ばく露防止及び保護措置

成分名	暴露限界値
CE-MS Run Buffer メタノール	日本産業衛生学会（日本、5/2015）。皮膚から吸収。 OEL-M: 200 ppm 8 時間。 OEL-M: 260 mg/m ³ 8 時間。 ISHL（日本、10/2014）。 管理濃度: 200 ppm 8 時間。

適切な技術的管理

- : 換気が十分な場所でのみ使用する。行程囲壁、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空中浮揚汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。防爆型換気装置を使用する。

環境暴露管理

- : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

個人の保護措置

衛生対策

- : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

保護眼鏡/保護面

- : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

皮膚の保護

手の保護具

- : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

身体保護具

- : 作業員の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。静電気が引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

その他の皮膚保護具

- : 製品の製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

呼吸用保護具

- : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer 固体。[粉末。あるいは結晶。]
液体。

色

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer 白。
Colorless aqueous solution

臭い

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer 無臭。
アルコール様。[弱い]

臭いのしきい

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer データなし。
データなし。

pH

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer 6.2 [濃度 (% w/w): 100%]
データなし。

融点

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer 205°C (401F)
データなし。

沸点

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer データなし。
データなし。

引火点

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer データなし。
開放式: 43°C (109.4F)

燃焼点

- : CE-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer データなし。
データなし。

9. 物理的及び化学的性質

蒸発速度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
燃焼性(固体, 気体)	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	次の物質および条件の存在下で引火性: 裸火、火花、 および放電 および 熱。 該当せず。
爆発(燃焼)限界の上限および 下限	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
蒸気圧	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
蒸気密度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
比重	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	0.8 データなし。
溶解度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	以下の物質に溶解: 冷水 および 温水。 以下の物質に容易に溶解する: 冷水 および 温水。
n-オクタノール/水分配係数	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	0.53 データなし。
分解温度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
自然発火温度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。
粘度	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	データなし。 データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する 利用可能な具体的試験データはない。 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する 利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	製品は安定である。 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起 こらない。 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起 こらない。
避けるべき条件	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得 るものすべて(火花または火炎)を避ける。 静電気防止対策を講じる。火災や爆発を防止するため、 容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、 物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。 粉塵の貯留を防止する。 いかなる発火源(火花あるいは炎)にも近づけてはならない。 。加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、 研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近 づけてはならない。
混触危険物質	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: CE-MS Test Sample CE-MS Run Buffer	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は 生成されない。 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は 生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
☑E-MS Run Buffer メタノール	LC50 吸入した場合 蒸気 LC50 吸入した場合 蒸気 LD50 経皮 LD50 経口	ラット ラット ウサギ ラット	145000 ppm 64000 ppm 15800 mg/kg 5600 mg/kg	1 時間 4 時間 - -

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
☑E-MS Run Buffer メタノール	眼 - 中刺激剤 眼 - 中刺激剤 皮膚 - 中刺激剤	ウサギ ウサギ ウサギ	- - -	24 時間 100 milligrams 40 milligrams 24 時間 20 milligrams	- - -

感作

データなし。

変異原性

データなし。

発がん性

データなし。

生殖毒性

データなし。

催奇形性

データなし。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
☑E-MS Run Buffer メタノール	区分1	未確定	未確定

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
☑E-MS Run Buffer メタノール	区分1	未確定	中枢神経系 (CNS) および 目

呼吸に対する危険有害性

データなし。

可能性のある暴露経路についての情報 : ☑E-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

データなし。
予想される侵入経路: 経口、経皮、吸入した場合。

起こりうる急性毒性

眼に入った場合 : ☑E-MS Test Sample

制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質へ暴露すると、目に炎症を引き起こす原因となることがある。
強い眼刺激。

吸入した場合 : ☑E-MS Test Sample

制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となることがある。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : ☑E-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : ☑E-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

11. 有害性情報

その他の情報

: E-MS Test Sample
CE-MS Run Buffer

有害症状には以下の症状が含まれる：眼に対する刺激、皮膚に対する刺激、気道の刺激（同様の物質）
有害症状には以下の症状が含まれる：眼のかすみあるいは複視、眼に接触すると、角膜損傷や失明の原因となる。繰り返しあるいは長期間暴露すると、肝障害を引き起こすことがある。

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
<input checked="" type="checkbox"/> E-MS Run Buffer メタノール	急性 EC50 24500000 µg/l 真水 急性 LC50 2500000 µg/l 海水 急性 LC50 290 mg/l 真水 慢性 NOEC 9.96 mg/l 海水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 幼虫 甲殻類 - Crangon crangon - 成体 魚類 - Danio rerio - 卵 藻類 - Ulva pertusa	48 時間 48 時間 96 時間 96 時間

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
<input checked="" type="checkbox"/> E-MS Run Buffer メタノール	-	-	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
<input checked="" type="checkbox"/> E-MS Test Sample Quinine, sulfate (2:1), dihydrate	0.53	-	低
CE-MS Run Buffer メタノール	-0.77	<10	低

土壤中の移動性

土壌/水分配係数(K_{oc}) : データなし。
移動性 : データなし。

オゾン層への有害性

: 該当せず。

その他の悪影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法




: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。製品残渣からの蒸気は、容器内部に高度に可燃性または爆発性のガス体を生じさせるおそれがある。使用済み容器は内部が十分に洗浄されていない限り、切断、溶接または粉碎を行ってはならない。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

追加情報

: 特別条項
251, 340

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN3316	UN3316	UN3316
品名(国連輸送名)	CHEMICAL KIT	CHEMICAL KIT	Chemical kit
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	9 	9 	9 
容器等級	III	III	III
環境有害性	該当せず。	No.	No.
追加情報	特別条項 251, 340	Emergency schedules (EmS) F-A, S-P Special provisions 251, 340	Passenger and Cargo Aircraft Quantity limitation: 10 kg Packaging instructions: 960 Cargo Aircraft Only Quantity limitation: 10 kg Packaging instructions: 960 Limited Quantities – Passenger Aircraft Quantity limitation: 1 kg Packaging instructions: Y960 Special provisions A44, A163

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
CE-MS Run Buffer 第四類	第二石油類(水溶性)	III	火気厳禁	2000 L

消防法 - 妨害物質 : 非該当

指定可燃物 : データなし。 指定数量 : データなし。

海事安全

危険物の海上運送規制に関する通達

成分名	リスト名	状況	政令番号
CE-MS Run Buffer メタノール	日本 - 海事安全 - 付録 no.5 (引火性液体)	該当	-

容器等級

該当せず。

労働安全衛生法

特定化学物質の用途

該当せず。

ラベルに関する規定

成分名	状況	政令番号
CE-MS Run Buffer メタノール	該当	36

15. 適用法令

名称等を通知すべき危険物及び有害物

成分名	状況	政令番号
<input checked="" type="checkbox"/> E-MS Run Buffer メタノール	該当	560

発がん性物質

該当せず。

変異原性物質

該当せず。

腐食性液体 : 該当
労働安全衛生法: 別表第一 : 引火性液体

鉛中毒予防規則 : 該当
四アルキル鉛中毒予防 : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

製造等が禁止される有害物等 : 非該当

危険物 : 不燃性

有機則 : 第2種

化審法

成分名	状況	政令番号
<input checked="" type="checkbox"/> E-MS Run Buffer メタノール	重要性評価	90

毒物及び劇物取締法

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当せず。

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 非該当

海洋汚染および海洋災害防止法 : データなし。

道路法 : 該当

特別管理産業廃棄物リスト : 非該当

日本インベントリ : 本インベントリ(ENCS)(既存及び新規化学物質): 未確定。
日本インベントリ(ISHL): 未確定。

国際規格

化学兵器禁止条約リストスケジュールI、II、IIIの化学物質

非該当。

モントリオール議定書(付属文書A、B、C、E)

非該当。

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

非該当。

15. 適用法令

[事前通報承認制度\(PIC\)に関するロッテルダム条約](#)

非該当。

[POPおよび重金属に関するUNECEオルフス\(Aarhus\)議定書](#)

非該当。

国際リスト

国別目録

オーストラリア	: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
カナダ	: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国	: <input checked="" type="checkbox"/> 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
ヨーロッパ	: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
マレーシア	: <input type="checkbox"/> 未確定。
ニュージーランド	: <input checked="" type="checkbox"/> 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
フィリピン	: <input checked="" type="checkbox"/> 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
大韓民国	: <input type="checkbox"/> 未確定。
台湾	: <input checked="" type="checkbox"/> 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
トルコ	: <input type="checkbox"/> 未確定。
米国	: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 23/03/2016

前作成日 : 11/04/2014.

バージョン : 3

参照 : データなし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。